

ベトナムについて

国際戦略室

今年9月 Vietnam Water Week への出展のためベトナムに出張しました。

話は少し遡りますが、今年4月、Informa Markets という会社から電話がありました。昨年度 JS が出展した Vietwater など国際的なイベントを主催するこの会社には、出展申し込みや送金などの事務手続きを代行してもらい、事前の準備がとてもスムーズだった記憶があります。

「今年も Vietwater に出展されますか？今年是中国企業の動きが思ったより早く、このままでは良いブースがなくなってしまうかもしれません」と言われ、「今年も出展します！詳細が決まったらご連絡します」と伝えて電話を切りました。

その後、今年出展するのは Vietwater ではなく Vietnam Water Week だという事が判明し、Informa Markets さんには丁重にお断りしたのですが、この2つのイベントは、主催者・開催場所・時期が微妙に違っているのですが、全くの別物というわけではなく、Vietnam Water Week は Vietwater からのいわばスピンアウトのようです。

Vietnam Water Week の主催者は Vietnam Water Supply and Sewage Association (VWSA) (ベトナム上下水道協会) という団体です。JS は公的機関という事もあり、Vietnam Water Week への出展は自然な流れと言えます。

前回と違い、今回は申し込みからブースの設営に必要な備品のレンタルなど、全ての手続きは先方の担当者と直接メールでやり取りしたのですが、これがなかなか大変でした。

出発2日前に、最終確認として送られてきた JS のロゴに団体名が入っていなかった、いざ会場に行ってみるとブースに照明器具がついていなかった、また、貼ったはずのポスターが翌日行くと全部剥がれ落ちていた、などなど…。

いくつかアクシデントはありましたが、無事にイベントを終えることができほっとしています。ベトナムの人たちの優しさと臨機応変さにはずいぶんと助けられました。

今朝のニュースで、滋賀県がハノイ工科大学と協定を結び、県内の地元企業と連携して卒業生の採用を支援していると知りました。

この円安のご時世に日本に来てくれるだけでもありがたい事ですが、日本の技術や、手厚い福利厚生や教育制度など、従業員を大切にする日本の企業風土に魅力を感じてくれてい

◇ 国際戦略室からのお知らせ ◇

るそうです。

人手不足に悩む日本社会にとって、ベトナムは今後ますます頼りになる存在になりそうです。